

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390101560		
法人名	医療法人 たくふう会		
事業所名	グループホーム津島の里		
所在地	岡山市北区津島京町1丁目5-18		
自己評価作成日	平成28年9月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障がい者生活支援センター		
所在地	岡山市北区津高628-1		
訪問調査日	平成28年11月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・母体であるクリニックの医師・看護師と24時間医療連携が図れる体制であることにより、安心して施設での生活を継続していただけています。また、ご希望により看取りまでの介護を提供させていただきます。
 ・歌などのボランティア、季節ごとの行事や散歩、ドライブや地域の行事への参加など生活を楽しくいただける工夫を行っています。
 ・ご家族が植えてくださる野菜を収穫し食卓を彩り季節感を味わっていただいています。
 ・お身体の不自由な方にもご入浴いただけるように特殊浴槽も完備しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

入居者が安心と喜びのある生活が送れるよう、事業所内のことに限らず、その都度他所での実例をもとに対処法を考えるなど、管理者を中心として、職員の間で話し合いや検討が日々行われています。、家庭菜園を家族の協力も得て行ったり、定期的に音楽ボランティアのコンサートを開いたり、家族や地域の方とも良い関係が築かれています。また24時間医師や看護師と連絡がとれる体制が整っており、健康面での不安の軽減に繋がっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	お一人おひとりに目を向け、その方らしくお過ごしいただけるように工夫しています	日頃より、前向きな言葉を使用するよう心掛け、「ありがとう」と言葉にすること、感謝の気持ちを大切にするように指導しており、法人の理念を踏まえ各ユニット毎の目標も決め、理念の実践に繋げています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎回地域の方に運営推進会議に参加していただき、ご助言をいただき情報交換をさせていただいています。地域の一員として町内の行事などに参加できるように努めています	廃品回収やクリーン作戦、お祭りといった行事に職員と入居者が参加し、地域とのつながりを大切に交流が図られています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご入居者と一緒に地域活動に参加させていただくことで認知症に対する理解をいただいています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族や地域の方から頂いたご意見をカンファレンスにて職員で共有し、サービスの向上に努めています	日々の報告に加えて、感染症や熱中症などその時々に応じた題材をもとに話し合いや報告を行い、家族や地域の参加者の意見を事業所内でも話し合い支援に活かしています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にご参加いただき、事業所の実情や取り組みをお伝えし協力をお願いします	適時相談をしたり、運営推進会議のお知らせは直接出向き案内を手渡し、日頃より積極的な関係作りに努め、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な研修の実施、職員の意識調査などを通して身体拘束をしないケアに取り組んでいます	法人全体での職員の意識調査が適時行われています。その結果に基づいて職員の間で振り返りや話し合いが行われ、身体拘束についての理解を深め、支援に取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を中心に虐待防止関連法について研修を実施、また、事例検討や接遇についての話し合いを細目に持ち防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度についての研修を今年度実施しました。今後も日常生活自立支援事業についても皆で学び、活用できるようにしていきます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時に疑問などはないかを確認し、ご理解・納得頂けるようにつとめています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	“ご意見箱”を施設内に設置しています。また、面会時や運営推進会議時に意見・要望をお聴きし、職員で共有・反映しています	運営推進会議でも様々な意見が出され話し合いが行われています。最近では、事業所の玄関のロックについて防犯上の問題点を話し合い、検討の結果安全なものへと改善しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回のカンファレンスや年2回の個人面談の他、日頃から職員の意見や提案が聴ける風通しの良い環境整備に努め、提案などを反映できるように努めています	入居者が生活しやすいよう細かな点にも職員が気付き、その都度改善策を講じています。また現在、風呂場の手すりについての検討も行われており、意見や提案の反映に努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握し、職員が働きやすい職場環境となるように努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	仕事を通しての助言だけでなく、法人内の研修への参加や一人一人の能力に応じた外部研修にも参加できるようにしています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修などの参加を通して同業者との交流や意見交換を図りサービスの質が向上していけるように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話を傾聴・情報収集に努め、職員間で情報を共有していくことで早期に信頼関係が築けるようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のご要望を伺い、良好な関係が築けるように密に連絡を取るようになっています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ソーシャルワーカーからのお問い合わせを多くいただき話し合いに努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の家事を共同で行うなど、ご本人の生活の場であることを念頭に関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との連携を細目に行い、自由な面会（一応面会時間は設定）に配慮しご家族との外出も行っていただいています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけだった美容師の訪問や知人の面会、ご家族の協力による外出などが行えるように支援しています	ドライブ時に思い出を振り返ったり、知人の面会や馴染みの方から届く手紙や葉書などの通信を通して、関係の継続ができるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	できる限り共有スペースでお過ごしいただけるように工夫をし、気の合う方と共同で作業をしていただいたり周囲と関わりが持てるように橋渡しを行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	死亡による契約解除。解除後10か月が経過し現在は連絡を行っていません。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランの点検などカンファレンス時に定期的に話し合い、ご本人が安心して生活が行えるようにしています	入居者の良いところや残存能力を日々の介護で見つけるように心掛け、日常の会話や些細な表情の変化にも気を配り、希望や意向の把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族との会話を通して生活歴や暮らし方などについてお聞きしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	認知・身体能力、日々の心身状態の把握につとめています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス時にモニタリングを実施し、ご本人・ご家族の意向も確認しながら現状に即した計画書作成に努めています	カンファレンスの前には必ず文書で家族にも意向の確認を行い、入居者の現状に即した介護計画の作成に努めています。また必要時には医師や看護師にも指示をもらい計画に反映しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・申し送りノートを活用して情報共有を行い、カンファレンス時などに計画の見直しにもつなげています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お一人お一人の状態把握に努め、ご本人・ご家族の意向に沿えるように努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物に同行してもらったり地域の行事に参加していただくことで生活を楽しむことができるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体法人の医師・看護師との24時間の連携体制や医師の定期訪問診療により適切な医療を受けられるようにしています	毎週、火曜日に看護師、木曜日に医師の往診、その他週末にもよく医師が立ち寄り、家族とも話す機会ができています。また希望や必要に応じて受診もできるよう支援しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携ノートの活用、24時間の連携体制によりすぐに相談、適切な医療や看護が受けられるように支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の速やかな情報提供に努め、入院中もご本人との面会を含め医療関係者と情報交換を行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時に重度化した場合について説明と同意を得ています。状況により医師からご家族に説明を行い、ご本人・ご家族の意向確認、医師・看護師と情報共有しながらカンファレンスで終末期の対応を話し合っています	重度化や終末期の対応について、入居者と家族の意向を尊重し、入居者に無理のない様、状況に応じた支援(生活、食べたい物・食べられそうな物を提供するなど)医師や看護師とも密な連絡を取りながら事業所のできることを職員で考え取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師による指導やグループ内研修、カンファレンス内で初期対応などの確認を行っています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災(火災・水害など)を想定した訓練の実施、運営推進会議などを通して協力体制の確認を行っています	水害を想定した訓練に入居者も一緒に参加し、カンファレンスの時、入居者の訓練時の様子を確認して、災害への意識付けを行っています。ハザードマップや避難経路の掲示、また備蓄や備品についても毎年確認を行い準備しています。	災害時の避難を全職員が行えるよう引き続き訓練するとともに、地域や消防署などの協力関係をより一層高められていくことを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇についての話し合いや事例の検討などを行ったり、パットなどの使用が他者にわかりにくい工夫などプライバシーの保護に努めています	入居者と職員の良い関係を築きながらも馴れ合いにならないよう、管理者も含め職員間で何度も話し合いを行い、共有することで、個人の尊重とプライバシーへの確保に努められています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人のペースや希望に合わせた生活支援が行えるように日頃から声掛けを行っています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の生活リズムを大切にしていますが、職員の都合で接してしまうこともあるため、気を付けて支援するように心がけています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類の決定や髭剃り、訪問理容の活用などを行っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえ、盛り付けや配膳、後片付けなど個々の力を活かしながら一緒に行っています	事業所で収穫した野菜も使用して、それぞれできることを一緒に楽しみながら食事の準備をしています。業者の献立を採用していますが、入居者の希望でパン食に変更したり、誕生日には外食をするなどの対応もしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量・水分量チェック表を活用。摂取困難な場合はご本人の嗜好を確認したり食事形態を工夫し支援しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全入居者の口腔ケアを実施。ご本人で行えない場合はスタッフが介助しています。また、訪問歯科を活用していただく事もしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し定期的なトイレ誘導をすることでできる限りトイレで排泄が行えるように支援しています	チェック表を活用し、入居者が快適に過ごせるように適時誘導をしています。自立している方も、排泄のパターンを把握し体調管理にも気を配っています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取の重要性や運動、腹部マッサージなどを伝えながら毎日排便確認を行っています。便秘が続くときは医師の指示を仰いでいます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を優先した入浴が難しく職員都合での入浴になりがちのため気を付けるようにしています	気持ちよく入浴していただけるように、言葉かけを工夫し、楽しんでいただけるように個々に沿った入浴支援に努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣や体調を考慮しながら対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・看護師と連携を図りながら服薬支援を行っています。症状の変化の確認に努め医師への報告も行っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活を大切に、家事などの役割を担ってもらい張り合いのある日々が送れるようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の散歩の他、本人の希望による外食や買い物、植物園などへのドライブといった外出支援の他、ご家族による外出もしてくださっています	事業所の外出支援の他に、家族の協力でも、入居者と行きたい場所へ外出をしています。事業所の側溝でメダカや蓮をみることができ、散歩コースとなっています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物同行でご自身の必要品や嗜好品を購入した時は支払いをしてもらうなどしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族への電話希望がある場合は支援しています。葉書を出したいといった希望にも応じています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごせるように刺激を少なくし、壁画などは季節感を感じられるように入居者と一緒に作業を行っています	四季を感じられる作品や、紙で作った花や動物などが飾られ暖かみのある空間作りをしています。ゆったりくつろげるソファもあり心地よく過ごせるよう工夫しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者同士で過ごせる空間と一人でくつろげる空間を工夫しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れたものや思い出の品をお持ちいただくなどの工夫をしています	過ごしやすい居室となるよう、入居者が使い慣れたものを持ち込み、また事業所での写真や作品も飾られ、落ち着いて過ごせる居室作りをしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室やトイレなどがわかりやすいように自身で塗った絵や文字で表示をするなどの工夫をしています		